

## 善徳寺だより 222号



## 自分を知る

「あおり運転」、「教師のいじめ」など、想像を超える行為が、日本中で溢れています。それに対し、マスコミはそれらを徹底的に取り上げ情報を流しています。また、インターネットでは、一般投稿の「あおり運転」、「いじめ」のショッキングな動画を見ることが出来ます。

あおり運転、いじめを行う事は、言語道断、決して許されない悪行です。しかし、この行為に対し、国中を上げて徹底的にたたき上げる風潮も少し怖いように思います。ネットでは、犯人の個人情報垂れ流され、バッシングの嵐。まるで、自分に溜まったストレスを解消するかのようです。

ここは少し冷静になって本当の私を振り返ることが必要だと思えます。これだけ他人を非難する私だけれども、縁が整ってしまえば何をすべきか分からない自分はいらぬはず。

「歎異抄」の中で、「人間が心にまかせて善でも悪でもできるならば、往生のために千人殺せと私が言ったら、おまえは直ちに千人殺すことができるはずである。しかし、おまえが一人すら殺すことができないのは、おまえの中に、殺すべき因縁が備わっていないからである。自分の心が良くても、殺さないのではない。また、殺すまいと思っても、百人も千人も殺すことさえあるであろう」と親鸞聖人はおっしゃっています。

本当の自分を知ることが必要なのではないのでしょうか？



## 報恩講法座のご案内

晩秋の砌 ご健勝にてご送日のことと拝察いたします。日頃は大変にお世話になり、まことにありがとうございます。

さて、下記のように報恩講法座を勤修いたします。「もう報恩講の季節が来たの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。早いもので今年もあとわずかです。

今年最後の法座ですので、ご都合をつけて、お誘い合っどうぞお参りください。よろしくお願い申し上げます。

記

日時 11月28日(木) 昼席 13:30~15:30

夜席 19:30~21:30

11月29日(金) 朝席 10:00~12:00

昼席 13:30~15:30

講師 福間義朝先生(三原市大和町 教専寺)

久しぶりの当山へのご出講です。本願寺を代表する布教使の先生です。ぜひぜひ、お聴聞ください。私(住職)もご縁にあうのが楽しみです。

29日の朝席終了後、婦人会役員の皆様が、お齋を準備くださいます。お齋をご希望の方は、事前にお近くの婦人会役員さん、もしくはお寺まで申し込みください。1食、500円です。たくさんのお申込みをお待ちしております。秋のひと時をどうぞお寺でお過ごしください。

## おしらせ

29日昼席終了後、お参りカードのはんこの数に応じて、くじ引きを行います。

お参りカードを忘れずに持って来てください。

昨年のお齋



夜席のライトアップ



## 🐾 今月のさくらさん

落ち着いている時は、言うことを聴くさくらさんですが、ひとたび興奮すると中々大変です。とにかく、逃げ回り捕まえることが出来ません。以前、境内に飛び出し、1時間ぐらい追い回しましたが、まるでダメ。汗びしょびしょになり、途方にくれていると父(前任職)が「わしに任せろ」とやって来ました。

「どうせ駄目よ」と思っていたのですが、「さくら～さくら～」の父の声に、なんと尻尾を振って寄っていき、胸に飛び込んでいくではないですか。

私(住職)の苦労は何だったのでしょうか？



## 通り報恩講のご案内

各ご家庭で勤める「通り報恩講」が、始まっています。これまで、お参りしているお宅は、婦人会役員さん、もしくは担当の方を通じて日時を連絡します。初めての方は、お寺の方へ連絡ください。日程調整をして一緒にお参りしましょう。

内容は「お正信偈」をお勤めし、「御文章」を拝読いたします。30分ぐらいの行事です。ぜひ「通り報恩講」を勤め、お寺の報恩講法座にもお参りくださいね!



なもあみだぶつ  
お参りしましょう!

## 五具足とは?

五具足とは、お仏壇のお供えの仕方を言います。ろうそくをともし燭台が1対、お花をお供えする花瓶が1対、真ん中に香炉を置きます。このお飾りは、一番丁寧な飾り方で、特に法事や報恩講の際に、このような配置にいたします。普段は三具足で構いません。

通り報恩講の際は、(道具があれば)五具足でお願いしますね。



自分の力を信じ、善行を積み重ねて仏になろうとする人は、ひたすらに阿弥陀仏の本願の、お救いのはたらきを信ずる心が欠けているから、阿弥陀仏の本願のおこころからはずれている。しかし、そのような人でも自力にとらわれた心を根本から転換させて、阿弥陀仏の本願の救いのおはたらきを信じ申しあげれば、阿弥陀仏の真実の浄土に往生することができるのである。

煩惱を生来すべて備えている私たちは、どのような修行によっても生死流転の迷いの世界を逃れることはできない。

「歎異抄事典」(柏書房)より

## 年末年始の行事

除夜会	12月31日(火) 20:00~20:30
除夜の鐘	12月31日(火) 23:45~0:45
修正会	1月 1日(水) 9:00~



お参りくださいね!

## お香について

お供えの一つとして「香」があります。香とは、本来、伽羅、沈香、白檀などの天然香木の香りをさします。そこから線香、焼香、抹香、塗香等の香り、またこれらの総称として用いられます。香の歴史はかなり古く、古代のオリエント世界では乳香、没薬などの薫香が盛んに用いられました。紀元前 3000 年前のメソポタミア文明ではシダーが香木として称えられ、古代エジプトではキフィと呼ばれる調合した香が重要な輸出品となっていました。オリエントの香りに関する知識はインドを経て中国・日本までもたらされたのです。

種類は多く、白檀、丁香などのように樹木の皮、葉、根などの粉末や、乳香、安息香など、芳香のある樹脂や麝香、竜涎香など動物性のものがあり、ふつつ香木(明香)と練香(煉香、合香)とに分けられます。

**丁香** フトモ科の樹木チョウジノキの香りのよい花蕾です。原産地はインドネシアのモルッカ群島であり香辛料として一般的に使われるほか、生薬としても使われています。漢名に従って丁香(ちょうこう)とも呼ばれます。

**乳香** ムクロジ目カンラン科ボスウェリア属の樹木から分泌される樹脂のこと。

**安息香** ツツジ目エゴノキ科エゴノキ属のアンソクコウノキ、またはその他同属植物が産出する樹脂のことです。アンソクコウノキなどの樹木に傷をつけて、そこからにじみ出て固化した樹脂を採集します。

**麝香** 雄のジャコウジカの腹部にある香囊(ジャコウ腺)から得られる分泌物を乾燥した香料、生薬の一種です。ムスクとも呼ばれます。

**竜涎香** マッコウクジラの腸内に発生する結石であり、香料の一種です。  
(写真上から、乳香、安息香、ジャコウジカ)

自分のお好きな香りを探してみてもいい!その香りを阿弥陀様の分け隔てないお慈悲として味わいます。

